

阿蘇山の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後とも変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成 27 年 9 月 15 日

12 時 00 分 現 在

内 閣 府

1. 火山活動等の概要（気象庁情報：9 月 15 日 6：30 現在）

(1) 火山活動等の状況

- ・ 9月14日09:43 阿蘇山中岳第一火口で噴火。

火口から弾道を描いて飛散する大きな噴石を確認。噴煙は火口縁上2000mまで上昇。

噴火による変色域が、中岳第一火口の周辺に認められ、北側で1km程度、南東側で1.3km程度まで確認。これらの領域は火砕流の痕跡の可能性。

現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部で降灰を確認。

(2) 噴火警報等の発表状況

- ・ 9月14日09:50 噴火速報
- ・ 9月14日10:10 噴火警戒レベル2（火口周辺規制）からレベル3（入山規制）へ引き上げ 警戒範囲：火口から2km
- ・ 9月14日12:20 火山の状況に関する解説情報〔臨時〕

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意。
- ・ 9月14日17:10 火山の状況に関する解説情報 第74号

<参考>

- ・ 噴火警戒レベル3の発表は、平成19年12月に噴火警戒レベルを運用開始して以降で初めて。
- ・ 平成26年8月30日 噴火警戒レベル1から2へ引き上げ

(3) 対象市町村等

- ・ 熊本県：阿蘇市、高森町、南阿蘇村

(4) 降灰予報（気象庁情報：9 月 15 日 05:00 現在）

- ・ 15日6時から24時までに噴火が発生した場合には、降灰及び小さな噴石の落下が予想され、火口から北西～西の方向に降灰が予想される。

2. 避難等の状況（警察庁：15 日 12:00 現在、消防庁：15 日 12:00 現在）

(1) 避難勧告等の発令

- ・ 避難勧告等の発令なし

(2) 避難状況等

○火口周辺 2km 付近の観光客及び施設従業員は、全員避難完了（14 日 11:20 消防庁、警察庁）

○火口から 1.2km に所在する山頂売店に、職員 5 名、火山調査関係職員 5 名の計 10 名がいたが、自己保有車 3 台で退避。

○警察官による立入規制中に規制区域内外から人の出入りなし（14 日 13:30～18:00 まで実施）

＜その他＞

- ・仙酔峡ロープウェイの駐車場に 1 台駐車されていたが、下山を確認（09:50 警察）
- ・阿蘇市職員が阿蘇山ロープウェイ阿蘇西駅に観光客等を避難誘導（阿蘇山ロープウェイは運休中）（11:00 消防庁）
- ・各登山ルートにつながる駐車場 4 か所については駐車車両なし（11:30 警察庁）
- ・2 キロ圏内に警察官等関係者なし（11:42 警察庁）

3. 被害の状況（警察庁：15 日 12:00 現在、消防庁：15 日 12:00 現在）

(1) 人的被害

- ・現在のところ被害情報なし
- ※119 番通報なし

(2) 物的被害

- ・現在のところ被害情報なし
- ※「阿蘇山ロープウェイ」阿蘇山西駅周辺に一般住宅なし

(3) その他被害

- ・現在のところ被害情報なし

4. その他の被害状況等

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：9 月 15 日 06:30 現在）

- ・現在のところ被害情報なし

イ ガス（経済産業省情報：9 月 15 日 06:30 現在）

- ・現在のところ被害情報なし

ウ 水道（厚生労働省情報：9 月 14 日 23:00 現在）

- ・現在のところ被害情報なし

エ 通信・放送（総務省情報：9 月 15 日 06:00 現在）

- ・現在のところ被害情報なし

(2) 道路関係（国土交通省情報：9 月 15 日 06:00 現在）

＜通行止め区間＞

- ・ 熊本県道 阿蘇公園下野線（全線）
 - ・ 熊本県道 阿蘇吉田線（南阿蘇村長野～南阿蘇村中松）
- ※解除済区間
- ・ 阿蘇市道 仙酔峡道路

(3) 鉄道関係（国土交通省情報：9月15日06:00現在）

- ・ 阿蘇ロープウェイ：運休中（平成26年8月～）、職員10名の避難完了
- ・ 仙酔峡ロープウェイ：休止中（平成23年4月～、設備があるのみで営業していない）

(4) 自動車関係（国土交通省情報：9月15日06:00現在）

- ・ 産交バス：阿蘇～阿蘇山西駅 1路線運休
阿蘇定期観光バス 1路線運休
- ・ 九州産交バス：熊本～阿蘇山西駅～大分・別府
1路線阿蘇山西駅を迂回して運行

(5) 空港関係（国土交通省情報：9月15日06:00現在）

- ・ 空港施設被害なし
- ・ 運航状況 国内線3便欠航

(6) 観光関係（国土交通省情報：9月15日06:00現在）

- ・ 4km圏内に宿泊施設なし

(7) 河川、土砂災害関係（国土交通省情報：9月15日06:00現在）

- ・ 現在のところ被害情報なし

(8) 医療・社会福祉施設関係（厚生労働省情報：9月14日23:00現在）

- ・ 現在のところ被害情報なし

5. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・ 情報連絡室設置（9月14日09:50）

(2) 関係省庁災害警戒会議の開催

- ・ 山谷内閣府特命担当大臣（防災）、赤澤内閣府副大臣、松本内閣府大臣政務官出席のもと、関係省庁災害警戒会議を開催し、今後の火山活動の見通し及び各省庁の対応状況等について確認（9月14日13:30）。

6. 各府省庁の主な対応

(1) 内閣府の対応

- ・ 内閣府情報対策室設置（9月14日10:10）
- ・ 内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（9月14日09:57、10:29）

(2) 警察庁の対応

- ・警察庁災害情報連絡室設置（9月14日09:50）
- ・九州管区広域緊急援助隊（福岡県警察114名、長崎県警察31名、佐賀県警察15名）計160名の待機を指示（9月14日10:01）→14日17:30待機解除
- ・熊本県警察ヘリがフライト、ヘリテレ映像を官邸等に送信（9月14日10:03）。
- ・熊本県警察に対し、機動隊25名の出動を指示（9月14日10:25）。
- ・阿蘇山ロープウェー阿蘇山西駅の山頂広場において、警察官が車両3台6名で警戒活動を実施。
- ・福岡県警察第二機動隊31名に待機指示（9月14日10:50）
- ・鹿児島県警察ヘリ「はやと」を熊本県に派遣。官邸等へのヘリテレ映像の配信を実施（9月14日11:30）。
- ・佐賀県警察ヘリ「かささぎ」を熊本県に派遣し、官邸等へのヘリテレ映像の配信を実施（9月14日11:30）。
- ・熊本県警察機動隊長以下25名が、火口から約2.8km離れた草千里展望駐車場に到着し、警戒活動を開始（9月14日12:15）。
- ・登山道に至る各道路上5カ所において、熊本県警察による立ち入り規制を実施（9月14日13:30）
- ・登山道に至る各道路上5カ所の立入規制を警察官による規制から道路管理者による規制に移行（2カ所は24時間監視）（9月14日18:00～）
- ・阿蘇警察署員による立ち寄り警戒を実施（9月14日18:00～）
- ・熊本県阿蘇現地災害対策本部（阿蘇火山博物館）に阿蘇警察署員を派遣し、関係機関との連絡調整を実施。また、機動警察通信隊についても同現地本部に派遣して映像配信を実施。
- ・機動警察通信隊設置の固定カメラ映像を官邸等に配信（9月15日06:29）
- ・熊本県警察ヘリ「おおあそ」がフライトし、上空からの警戒を実施（9月15日09:30）
- ・移動交番車を草千里駐車場に配置。警察官2名が駐留警戒を実施（9月15日09:00）

(3) 消防庁の対応

- ・消防庁災害対策室設置（9月14日10:10）

(4) 防衛省の対応

ア 部隊等の活動状況

【9月14日】

- ・第8航空団（築城）のF-2×2機が情報収集のため基地を離陸（10:00）
- ・熊本地方協力本部のL0×1名 情報収集のため阿蘇市役所に出発（10:15）
- ・第8師団のL0×2名、車両1両 情報収集のため熊本県庁に出発（10:20）
- ・西部方面航空隊のヘリ映像機×2が情報収集のため離陸（10:30～）
- ・第42普通科連隊のL0が阿蘇市役所と阿蘇地域振興局に向け出発（各2名）（10:35）
- ・海自22航空群（大村）SH-60×1機が情報収集のため基地を離陸（11:01）
- ・西部方面総監部のL0（人員2名、車両1名）が熊本県庁に向け駐屯地を出発（11:55）

- ・偵察航空隊（百里）RF-4×1機が情報収集のため基地を離陸（13:30）

イ 活動規模（9月14日 21:30 現在）

航空機：6機

その他：L0人員9名、L0車両5両

(5) 文部科学省等の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室（室長：施設企画課長）を設置（9月14日 10:00）。
- ・熊本県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒の安全確保等を要請（9月14日 11:06）。
- ・京都大学において、観測データを気象庁に提供するとともに、科学的知見を用いて阿蘇山の火山活動の把握等に関する中心的役割を担っている。
- ・火山噴火予知連絡会からの要請により、宇宙航空研究開発機構（JAXA）において「だいち2号」（ALOS-2）による緊急観測を行い、データを提供（9月14日）。
- ・防災科学技術研究所において、以下の対応を実施
 - ウェブサイト、研究者を中心に観測情報を参照できるポータルサイトを開設（9月14日）
 - 火山防災情報の利活用の促進に向けた調査のため職員を熊本県に派遣（9月14日～）
 - 基盤的火山観測網（Vernet）による観測結果を公表（9月14日）

(6) 国土交通省の対応

ア リエゾン派遣

- ・九州地方整備局より熊本県庁と阿蘇火山博物館（阿蘇火山防災会議協議会）にリエゾンのべ7人・日派遣（9/14～15）

イ 防災ヘリコプター

- ・九州地整防災ヘリ「はるかぜ号」により、阿蘇山周辺の状況調査を実施（9/14）。
明瞭な降灰範囲は、中岳第一火口周辺の約1kmの範囲に限られることを確認。

ウ 路面清掃車

- ・熊本河川国道に3台待機

(7) 気象庁の対応

- ・気象庁本庁警戒体制（9月14日 10:10）
- ・記者会見（9月14日 11:30）
- ・機動調査班（JMA-MOT）が九州地整ヘリに搭乗し上空からの観測を実施（9月14日）
- ・機動観測 地上からの観測を実施（9月14日）
- ・熊本県へ職員派遣（9月14日）
- ・阿蘇火山防災協議会現地対策本部へ職員派遣（9月14日～）

(8) 国土地理院の対応

- ・阿蘇山の火山土地条件図および災害対策図等を関係機関へ提供（9月14日）
- ・人工衛星（だいち2号）データを用いて阿蘇山の地表の状態の変化を解析中（9月14日）

7. 関係地方公共団体等の対応（消防庁情報：14日14:15、熊本県情報：14日15:00現在）

(1) 熊本県

【9月14日】

- ・ 10:10 災害警戒本部設置
- ・ 10:30 火口への道路（県道）に対し規制完了
- ・ 11:00 災害警戒本部会議を開催
- ・ 11:20 入山規制区域（火口からおおむね2km範囲）の観光客、従業員等は全て避難済を確認
- ・ 13:30 第2回災害警戒本部会議を開催
- ・ 18:00 第3回災害警戒本部会議を開催

(2) 熊本県阿蘇市

【9月14日】

- ・ 09:43 阿蘇市阿蘇山山上事務所職員が観光客等の避難誘導を実施
- ・ 11:00 阿蘇火山博物館に現地対策本部を設置（火山防災協議会関係機関）

(3) 阿蘇火山防災会議協議会

【9月14日】

- ・ 13:30 阿蘇火山防災会議協議会を開催
- ・ 17:00 第2回阿蘇山火山防災会議協議会を開催